

大町病院サポーターの会会報

№. 79

2020年9月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者 降旗 剛

草取りとプランターの花を補植 先生方を先頭に 50 人余が汗を流す



8月9日午前6時30分から7時30分まで、病院花壇の草取りと、梅雨の多雨で枯れてしまった、5月に植えたペチュニアの花の補植作業を行いました。

早朝の涼しい中、井上善博病院長先生はじ

め、医師5人や家族連れでの参加者があり、50人余りで一斉に花壇、ミニ菜園の草取り、草刈り作業に汗を流しました。最後にプランターに、鉢花を30本植えロータリーに配置しました。





大勢の参加者で作業ははかどり病院周辺はすっかりきれいになりました。

作業後は恒例のお茶での交流会は行わずペットボトルと駄菓子の入ったお楽しみ袋をおみやげに解散しました。

水くれは大変ですが、平日は職員が、土日祝・

祭日はサポーターの会が受け持っています。暑さが厳しいためたっぷりと水くれています。



当日の参加者（受け付け）

海川明文 松澤絹枝 北沢孝一 松田英子 小浪和正 高橋博久 井澤純子 井澤皓生 遠藤照子 渋田見博 青木俊樹 松下吉邦 赤羽健次 荒井賢治 鳥羽嘉明 相澤陽介 中村薫 黒岩良介 坂井征洋 太田智子 伊藤臣子 江津一二三 坂井てるみ 坂井賢 塩原義夫 日堂麻世 山岸佳美 羽田誠暁 中島一郎 西沢千文 清水あさひ 大日向明 武井晴明 降旗いずみ 和田由美子 井上善博 太田久彦 高木哲 金子一明

(順不同・敬称略)

医師不足で分娩休止に 知り合いに医師はいませんか

9月議会で井上善博病院長は、医師不足を理由に11月から分娩や妊婦健診などすべての産科診療を当面休止とすると表明しました。

これは現在常勤医師1人で、産科医療を担うのは困難と判断したことからです。

大町北安曇地域では分娩のできる病院は大町病院だけで、地域での出産ができる施設はしばらくの間なくなることになります。11月以降の産科診療は休止となりますが、婦人科診療（外来、検診）と助産師外来（乳房管理、育児相談など）は継続されます。

全国的な産科医の不足の中、是非、複数の医師が来てほしいものです。

皆様のご家族、親戚、知人の中に医師や医療従事者はいませんか。産科医に限らず、心当たりがありましたら情報を病院総務課長、事務長までお寄せください。秘密は厳守します。



病院のミニ菜園のミニトマト

病院の経営改善進む 単年度収支は純利益に 矢継ぎ早の改善、改革 職員の努力結実

8月20日の大糸タイムスは、大町病院の令和元年度の決算が8年ぶり純利益を上げ黒字になったことを報道しました。これは9月市議会を前に、18日に行われた大町市の定例記者会見で発表されました。令和元年度の病院事業会計は、純利益が2億8,523万7,347円に上りました。

川上晴夫病院事務長は「経営健全化計画に基づく取り組みや給与削減など病院職員の努力と協力によるもの。引き続き地域の皆さんの安心につながる医療提供に努めたい。」と語りました。

大町病院令和元年決算状況（単位：円）

収益の部

医業収益 4, 222, 053, 424

医業外収益 744, 310, 075

特別利益 12, 936, 152

合計 4, 979, 299, 651

費用の部

医業費用 4, 493, 684, 035

医業外費用 197, 042, 270

特別損失 3, 335, 999

合計 4, 694, 062, 304

収支差引

4, 979, 299, 651 - 4, 694, 062, 304 = **285, 237, 347**

（純利益：単年度黒字額）

経営の概要

経営健全化計画を職員一丸となって進め、収益増加とコスト削減に積極的に取り組み、目標の達成に努めました。収益では30年7月から病床数を199床に変更したこと、救急患者の積極的受け入れによる診療報酬上の機能評価係数を向上させる取り組みを進めたことにより、診療単価が上昇し、医業収益は対前年比5,800万円を超える増収、一方、費用は職員の協力のもと、緊急的な措置として職員給与の削減を継続し、委託料や材料費、減価償却費の減などにより、医業費用は対前年度比1,300万円以上の削減となりました。これら収支改善により、経常利益は対前年度比、1億円余の改善が図られました。また、前年度においては、退職給付引当の不足額を特別損失として一括処理したことから、本年度は純損益についても利益を計上することとなりました。収支不足が、直接的な要因となって増大していた一時借入金、一般会計から長期借入金が受けられたこともあり、本年度末残高は前年度から4億円減少しました。

また、資金不足比率は医業収益の伸びにより、健全化基準の20%を大幅に下回る8.8%と、大きく改善が図られました。

9月市議会で高橋正議員、岡秀子議員が一般質問

◇高橋正議員の質問要旨

（元年度決算への見解と職員の協力への感謝を述べ）9年前の病院経営が危機に陥った原因は、看護比率7:1導入による給与費の増大。その結果、29年度決算での資金不足比率が22%となり、全国2例目となる不名誉な経営健全化計画の策定が求められた。市長後援会と新聞紙上では令和元年度は「大町病院経営が黒字になった」と表現しているが、このまま行けば何の問題もない黒字、黒字のお祭り騒ぎになり、根本的な解決は先送りになる危惧がある。経営判断のまちがいで黒字は一時的なもの、大きな借入金、一時借入金が残っており、老朽化し、無駄の多い巨大な施設、今後起こる社会環境の変化に対応できるのか。市からの繰出金も検討の必要がある、と述べました。



大町市議会棟

牛越市長の答弁要旨

29年度決算結果を受け個別外部監査を導入し、30年度末に経営健全化計画を策定。昨年3月議会で議決いただき立て直しに当たっている。収益向上により病院と地域医療を守るためには病院の存続が重要であり、病院職員の身を削る努力に対し深甚なる敬意と感謝を申し上げる。単年度収支は大きく改善したが安心はできない。この単年度収支の黒字化を年々積み上げ、着実に継続的な努力こそが経営健全化への近道。今後の投資計画は経営検討委員会委員はじめ皆様にアドバイスいただき、健全化計画期間内に一定の道筋を見出すよう事業管理者と共に検討する。将来の経営形態については、外部監査報告書には地方独立行政法人への転換を検討すべきとされており、これを進めるには経営の黒字化や債務の整理が必要。まずは経営健全化に向け改善策を着実に実行することを前提として、経営形態を総合的に検討していく。

◇岡秀子議員の質問要旨

病院事業の決算結果を正面から捉え収支決算の内容を一つ一つ検証した上で、①決算の総括について②産科の休診とその影響③新型コロナウイルス感染症への対策と今後の見通しについて。市民の声を踏まえての質問でした。特に産科の休止については、大北地域全体の重要問題で、市民の関心も高まっている中、切実さが伝わる熱のこもった質問内容となりました。医師不足の問題は、国の医療政策に左右され、簡単に解決できるか心配です。少子化対策の上でも地方を守る上でも、1日も早い産科医の確保を願うところです。

9月議会病院関係の一般質問をサポーターの会が傍聴

大町市議会9月議会では高橋正議員、岡秀子議員が、それぞれ大町病院経営について個人質問に立ちました。降旗会長と事務局、会員が傍聴しました。

高橋議員の質問は病院開設者の市長に対して行ったもので、貴重なご意見のほか厳しい指摘もありました。議会での質問は大勢の市民と職員も関心を寄せています。特に病院経営状況を正確に理解されるよう十分説明を尽くすとともにこうした質疑が、経営改善を目指して一生懸命に働く医療現場の職員の士気を低下させることにはならないかと危惧しました。

市議会9月定例会中継を拝見させていただきました（投稿）

市議会9月定例会中継を拝見させていただきました。その中で気になる質問がありました。議員の質問は病院開設者に対するものでしたが、「黒字黒字のお祭り騒ぎ、一時的な黒字で、莫大な借入金などが残っており、無駄の多い巨大な施設云々、今後起こる社会環境変化に対応できるのか」などというものでした。

新型コロナの影響で公立病院の70%の病院が赤字に転落、東京都などは90%が赤字という状況にある病院経営となっているさなかの議員の質問です。

県内19市の中で8年連続高齢化率1位という状況下にある自治体病院で、バックには北安曇という過疎化の進む地域を抱える病院経営について、これまで赤字を悪として責めて来た議員の質問なののでしょうか。

2年毎に社会保障関連の予算削減が図られ、改定された診療報酬は、-2.9% -1.0% -3.16% -0.82%とその都度削減され、本来であれば適正な価格水準の中で調整されるべきものを、これを補完する手段として繰入金を活用して公立病院の経営がされる仕組みを、国の制度としてきました。

その国の制度に翻弄されている自治体の本質を見ずしての質問は情けないと感じさせました。

この制度や環境の中であって、コロナ禍に立ち向かう医師はじめとした病院スタッフの懸命な努力の結果をないがしろにするばかりか、その志や覚悟を反故にするような質問にがっかりせざるを得ませんでした。

一時的であれ、市民に安心感を与えた「病院黒字化」のニュースは、医師をはじめとして医療スタッフの、頭が下がる努力に感謝をし、私たちの命と健康を守る砦を支える皆さんに勇気と希望を与えるような質問はできないものかと感じましたので、一筆取らせて頂きました。（Y・S）

市野屋新井伸裕社長〈横浜市在住〉が 医療用マスク 4,000 枚を大町病院に寄贈

8月8日夕方、(株)市野屋の新井伸裕社長〈横浜市在住〉より、サポーターの会を介して大町病院にマスク4,000枚を宅急便で送り届けていただきました。これは今年2月22~23日にかけて東京中心に全国から約50人の医師が大町に集まり、大町病院、明日香荘を会場に合宿を計画、最終日には市野屋さんの酒蔵を見学する計画でした。日曜日にも関わらず手配いただき、サポーターの会事務局とも何回かの打ち合わせでお



大きな段ボール2函のマスクを受け取る

世話になりましたが、コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。その後心配されていた新井社長さんより大町病院へマスク寄贈が打診がされ KAZE 3層マスクの寄贈が実現しました。

新井社長は8月12日夕方、大町病院を訪問し、挨拶をする予定でしたが、コロナの影響が収まってからの訪問ということになりました。新井社長からは『井上善博院長はじめ、病院で働かれている方々に「いつもありがとうございます。」とお伝えいただければ幸いです。』とメッセージをいただきました。

病院だより キラリ vol.34 9月1日号より

多くの個人・団体・市民が励ましの寄付してくださいました

北陸コカ・コーラボトリング(株) (株)モンベル内アウトドア義援隊 (株)宏和デザイン (株)田中屋 長野県看護協会 フマキラー(株) 自由民主党二階俊博幹事長 長野県歯科医師会 東京電力労働組合 (株)伊藤園 南信カーネーション組合 山崎祐輔 大雪溪酒造(株) 日本コカ・コーラ(株) 医療介護従事者応援キャンペーン実行委員会 東洋羽毛北信越販売(株) ネスレ日本(株) 市内の多くの個人、企業の皆様 (順不同敬称略)

サービス向上を目指して次々改革進む

コロナ検査体制を拡充・迅速化

大北地域唯一の感染症指定医療機関の大町病院は、新型コロナウイルスの感染拡大を想定し、検査体制の拡充を図ります。これまで実施していた PCR 検査は検体採取のみでしたが、8月中に PCR 検査に比べ短時間で結果の出る LAMP (ランプ) 法での検査機器を導入し、迅速な検査態勢を整備し、スタートしました。

病院ではこれまで、発熱外来の他「大北圏域新型コロナウイルス感染症外来・検査センター」を設置し、ドライブスルー方式で検体の採取を行い、外部機関に PCR 検査を依頼していました。ランプ方式では、1回について14検体を検査でき1時間ほどで結果が出ると言われて折、迅速化により濃厚接触のリスク低減が期待されます。



病院に来なくてもオンラインで診療始まる

大町病院は、8月1日オンライン診療の実施を国に届け出、一部診療科でスマホやタブレットなど通信機器を活用することで、患者が来院しなくても診察を受けることができる「オンライン診療」の運用を開始しました。

国の方針では「疾患を限定することなく初診から」としてはいますが、大町病院では、脳神経外科の主に慢性疾患の方を対象にスタートし、今後順次、対象診療化を拡大する予定です。なお、病院では「詳しい検査や問診ができないことなどから、初診オンライン診療には限界もある。」と難しさも説明し理解を求めています。

新型コロナ無症状者自己負担検査受け入れへ

大町病院では、LAMP法による新型コロナウイルス感染の検査機器を導入し、院内検査が可能となりました。9月半ばから症状が出ない人を対象に、自己負担（保険外診療）で検査を受けられる態勢を整えました。検査費用は3万円（税込み）。自費検査は発熱などの症状がないことが条件で、南棟さくら2階、健診センターが窓口。予約制で、受付は健診センターで月～金の午前11時から午後4時半までです。検査は月～木曜日の午後2～3時の間。検査方法は①PCR法か②LAMP法どちらかを選択していただきます。結果は①の検体は外部機関での検査となるため3～4日後、②は院内検査できるため2～3日に結果を通知します。検査報告書は郵送でしますが電話でも可。予約、問い合わせは健診センター（電話0261-85-2234）まで。



病児・病後児保育施設を開所 受け入れます

10月1日から病児・病後児保育施設を大町病院内に開所します。この事業は北アルプス連携自立圏事業の一環で実施され、大北地域6市町村の居住者や勤務者の子どもが利用できます。

子どもの病気の際に、一時的な預かり保育を行い、地域住民が安心して子育てできる環境を整備するものです。

利用定員は4人で、利用時間は平日の午前8時～午後6時。

開設場所は、病院西病棟3階の病室を改修し大北圏域の保育園等に通う満1歳から6歳（小学校就学前）までの児童。利用は原則として連続5日以内となっています。

土曜日診療を月1回にし 労働環境を改善

10月から、大町病院は国の提唱する働き方改革に対応し、医師や職員の残業を減らし、休日取得の推進につなげるため、土曜診療を月1回に減らすことになりました。これまでは第2第4土曜日の午前中診察日としてきましたが、第4土曜日を休診します。第2土曜日の診察は、これまで通り受け付け8時～10時半、診療は9時から行います。なお、緊急時は、今まで通り救急外来にて対応します。

土曜診察減については、これまでの受診者の推移から、日にちを変更するなど調整し、サービスの低下にならないよう対応できると判断しました。この推進により医師、職員の皆さんの勤務条件の改善が1歩前進します。

この見直しは労働時間短縮による国からのペナルティーを避けるとともに、勤務条件を緩和し、経費の軽減にもつながることになります。

甘いとうもろこし 召し上がれ 降旗剛会長から



2 コンテナ 100 本のピュアホワイト

8月28日、昨年に引き続き降旗会長が地元八坂産の糖度15度という甘いとうもろこし「ピュアホワイト」を病院の皆さんにと2つのコンテナに100本差し入れしてくれました。このとうもろこしは柔らかく生食が可能で人気の品種です。八坂地域の畑は肥沃で野菜づくりに適しています。キャベツ、白菜、大根、とうもろこしなど盛んに栽培されています。そのほかに会員からはササゲ、キウリ、ナス、ゴウヤ、トマト、かぼちゃなどが差し入れされています。ありがとうございました。

苦勞して収穫したじゃがいも食べてね

8月17日、会員の家庭菜園で取れたじゃがいも50Kgが医局に届けられました。家庭菜園で取れただけあって大小入り混じった、形も様々な味のあるじゃがいも？です。

2Kg入の袋に分けて届けられたこのじゃがいもは、4月末に植えられ、有機肥料のみで育てられ、無農薬で作られました。作付けから3か月の生育期間で7月末収穫後、日陰干しで乾燥させたため時間がかかっています。栽培するに当たり、この芋の天敵はモグラと姫ネズミで、大きな形の良い芋をかじります。土が盛り上がっているところはモグラのトンネル跡です。ここへ上から穴を開け、唐辛子を入れていきます。繰り返すうちにモグラは退散します。野菜づくりは根比べです！ところで、周囲の畑のじゃがいもはイノシシに掘り返されほぼ全滅でした。会員の畑は全く荒らされません。原因はわかりません。

周囲の人々は①ペットボトルでつくった風車の音と振動の成果②畑に設置されたソーラー夜光灯が光るため③植栽されている激辛唐辛子「ハバネロ」の威力か、と推測しています。どれが決め手かわかってはいません。



内緒の話

『唐辛子で一番辛い品種はハバネロと言われています。ハバネロは触ただけでも刺激を受けますので手袋をして作業します。作物を保護するためにモグラのトンネルにハバネロを差し込む作業が終わりました。』

手袋を外し気持ちも晴れやかに立ちションをしたのです。事件はこの直後に起りました。局部が急に熱くなりヒリヒリとしてきたのです。「これは大変だ。病院に行か

なければ！」しかし考えるまでもなく、場所が場所だけに行く勇気が出てこない。どうしようか。そうこうするうちにそれ以上の進行はなく、収まってきたので、ほっとしました。家に戻りシャワーを浴びきれいに洗い流し無事、事なきを得ました。』

教訓：手をきれいに洗うことは新型コロナのためだけではない！！

坊っちゃんミニかぼちゃ 30 個も

9月15日、医局に家庭菜園で作られた坊っちゃんかぼちゃ 30個が届けられました。表面がきれいなものや虫にくわれイボやアバタになったものなどが入っても味は変わりません。まさに無農薬、家庭菜園で取れた野菜そのものです。

煮付けに、ポタージュに料理してね！

黄緑色野菜は健康のもとと言われています。実証結果はどうなんでしょうか？



差し入れられた坊っちゃんかぼちゃ



鶏頭の花玄関に

9月17日、会員が丹精込めて育てた鶏頭の花 2鉢が病院玄関前に配置されました。

配置された鶏頭の花はとさかが大変大きくえんじがかった赤色で見ごたえのある鉢です。

南棟さくらの入り口においてあります。ここから病院への出入りはできませんが見事な花を御覧ください。

お知らせ

病院庭木の剪定と花壇の草取りは、少雨決行

10月4日朝9時から ご協力ください

サポーターの会は10月4日午前9時玄関前集合で、庭木の剪定と、花壇の草取りを行います。会員の皆さんはもとより一般市民の皆さんもご協力ください。草取りの道具は会で用意します。剪定バサミなど用意できる方は、お願いします。小雨決行です。

10月のきのご狩り交流会は中止に

新型コロナの影響で毎年行っているきのご狩り交流会は、がった祭が中止となり熊の出没も多発していることから残念ではありますが、本年度は中止します。

サポーターの会 会費納入者（順不同・敬称略）

個人会費

志賀一夫 篠崎ヤヨへ 西澤ひろみ 太田千鶴子の皆さん。ありがとうございました。